

第81回 Eビジネス研究会



ケータイ小説発行部数522万部、脅威を誇るクチコミのメカニズム
～ 新たな消費者行動を生むモバイルCGMとユーザーコンテンツ ～

株式会社 **魔法のいらんど**

〒102-0076
東京都千代田区五番町6-2 ホームットホライゾンビル7F
Tel:03-5226-0806 Fax:03-5226-0807

Agenda

1. モバイルコミュニティ「魔法のiらんど」とは？

誕生の背景と秩序の形成
8年間の歴史で培ったユーザーとの信頼関係

2. クチコミで拡大するメカニズム

広告を打たずに、サービスが成長する理由とは？
ケータイ小説が生まれ、広まる理由とは？

3. モバイルビジネスの未来を拓く「魔法のiらんど」の可能性

クライアントの事例紹介
モバイルの特性とコミュニティの可能性

4. Q&A



魔法のいらんど は、無料ホームページ作成サービスをベースにした日本最大級のモバイルコミュニティサイトです。

◆ホームページ作成サービス

「魔法のいらんど」は「携帯電話、PCから無料でホームページが作成できるサービス」として1999年12月にスタートしました。ユーザーのクチコミで瞬く間に広がり、現在では累計登録ID数520万、月間16.5億ページビュー（2007年1月末現在）を超える日本最大級のモバイルコミュニティサイトに成長しました。

広く人気のブログはもちろん、掲示板、プロフィール、そしてケータイ小説ブームが生まれる源となったBOOK（小説執筆機能）など、30種類以上の機能があります。もちろん人気の定番機能に加えてユーザーニーズに合わせた新機能も続々リリースしています。最新機能として、自分のHPでお気に入りの商品を販売できる「お店機能」、アマチュアミュージシャンが自作の楽曲をストリーミング配信できる「音楽配信機能」などが人気です。

一般的なブログサービスとは違い、ホームページならではの表現の自由度や広がりがあり、個人個人の思いのままの個性的な表現が可能です。ホームページならではの豊かなユーザー表現が魅力のコミュニティからは、時代を象徴するウェブ2.0的ムーブメント、サービスが次々に生まれています。

◆CGMを促進するいらんどチャンネル（ポータル・サイト）

ユーザーのホームページでの表現活動とそれを楽しみに来るユーザーのために「いらんどチャンネル（ポータル・サイト）」を構築、運営しています。

たとえば「魔法の図書館」。ケータイ小説ブームを牽引するこのサイトは今一番読まれているケータイ小説が分かる「ケータイ小説ランキング」、ジャンルごとにお目当てのケータイ小説を探せる「BOOKナビ」、話題の作品について語ることができる各種「掲示板」や、自分の作品をアピールできる「Myケータイ小説宣伝板」などがあり、作家であるユーザーさんの活動の支援、読者であるユーザーさんの楽しみ方を提供しています。

他にも10代～20代前半の女性をターゲットにした「ハニーハニーガールズ」、他にもお店機能を使っているホームページでにぎわう「魔法通り商店街」、人気のブログを探せる「みんなのブログ」、アマチュアミュージシャンたちのホームページを探して、その音楽を楽しむ、「いらんどミュージックファクトリー」も人気です。

ケータイ小説が生まれ、広まる理由とは？

◆ケータイ小説とは

ケータイ小説とは、ケータイで書かれ、ケータイで読まれ、ケータイで広まった小説のことです。プロの作家ではなく、一般のユーザーが書いているのも、特徴のひとつです。

◆ケータイ小説が生まれ、広まる理由

作品を書く、探す、読む、レビューする、というCGM（消費者生成メディア）の動きが人気作品を生み出す原動力となっています。一般のユーザーが書き、一般のユーザーが読む。つまり、書き手と読み手が近い。その書き手が描く等身大のストーリーだからこそ、読み手が登場人物に自分を重ね合わせやすく、共感を生むのである。そして、その共感がクチコミを発生させるカギを握っている。

ケータイ小説というユーザー・コンテンツに共感する、ケータイ小説をキーワードとするコミュニティを形成する、ケータイ小説を友達に勧めるなど、全ての行動の主体は個々のユーザーである。

弊社では、ケータイ小説のポータルサイト「魔法の図書館」を構築し、作品を探す・語る・宣伝するなどのユーザーの活動を支援してきました。「魔法の図書館」を介してユーザーの行動をスムーズにすることで、より多くのケータイ小説をお届けし、より多くの共感を生むことができた、と考えております。

◆ケータイ小説の現状

2005年10月に初めての書籍化作品「天使がくれたもの」が生まれ、2007年2月末現在で、16タイトルの小説が出版され、累計発行部数は522万部にのぼっております。

「恋空」、「赤い糸」といったミリオンセラーも創出しました。

